

編集補助

植栽成長シミュレーション

図面上に配置している植栽（草花は除く）のサイズを指定した年数後のサイズに変更します。

1) 図面上に植栽を配置しておきます。



2) 画面上部のメニュー[編集-補助]-[植栽成長シミュレーション]をクリックします。「植栽成長シミュレーション」のパレットが表示されます。

編集補助



3) パレット内の「成長させる」「元に戻す」の中から、成長シミュレーションを行う年数を指定して[OK]をクリックします。
元の状態に戻すには、「元に戻す」項目から同じ年数を選択して[OK]をクリックすると元に戻ります。

[配置時の植栽]





Hint

植栽シミュレーションの切り替えは平面、3D 画面で
使用することができます。

一定の年数以上経過させると、それ以上樹木のサイズ
は変わらない場合があります。

※対象は「3D 樹木」限定になります。

4) 「植栽成長シミュレーション」のパレットを閉じる際は、パレットの[閉じる]をクリック
します。

編集補助

※造園樹木の成長係数は、財団法人都市緑化機構の調査に基づくものです。参考文献については次ページをご覧ください。
造園樹木の成長量は環境条件・ 個体等によって大きく異なり、今回設定した成長係数はあくまでも一つの目安となります。

「植栽成長シミュレーションについて」

造園樹木の成長係数は、財団法人都市緑化機構の調査に基づくもので、国土交通省の「公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）」、都市公園技術標準、IPCCの「土地利用、土地利用変化及び林業に関するグッド・プラクティス・ガイドンス」、及び国土技術政策総合研究所の研究論文等を参考にしています。

造園樹木の成長量は環境条件・
個体等によって大きく異なり、今回設定した成長係数はあくまでも一つの目安です。

【参考文献】

- ・財団法人日本緑化センター（2009）：公共用緑化樹木等品質寸法規格基準（案）の解説
- ・社団法人日本公園緑地協会（2010）：都市公園技術標準解説書
- ・社団法人日本公園緑地協会（2005）：改訂25版造園施工管理技術編
- ・中島宏（2004）：緑化・植栽マニュアル，経済調査会
- ・小学館（1999）：園芸植物大事典
- ・藤原宣夫他(2002)：都市緑化樹木によるCO₂固定量の算定方法に関する研究，日緑工誌，28（1），26-31
- ・松江正彦他(2009)：日本における都市樹木のCO₂固定量算定式，日緑工誌，35（2），318-324
- ・松江正彦他(2011)：公園樹木管理の高度化に関する研究，国土技術政策総合研究所資料第623号，41-46
- ・IPCC(1996)：Good Practice Guidance for Land Use, Land-Use Change and Forestry(LULUCF-GPG)
- ・Jennifer C.J. et al(2003)：National-Scale Biomass Estimators for United States Tree Species，Forest Science，49（1），12-35

編集補助

一意的なソリューション ID: #1144

製作者: 藤田

最終更新: 2018-06-19 13:52